

令和7年度 可児市立土田小学校



【学校教育目標】たくましく生きる土田の子
あたたかく かしく ねばりづよく

はとぶき

7月号



土田小オリジナル
キャラクター【はとみん】

心の安定・充実

◆先日、岐阜県唯一のプロサッカーチーム、FC 岐阜の試合を見に行きました。そこには日本代表にも選ばれた、フランス1部リーグに所属する古橋亨梧選手がゲストとして来場しており、大人気でした。ヨーロッパリーグで活躍するような一流選手である古橋選手は、実は岐阜県にゆかりのある選手です。

◆プロサッカー選手を夢見ていた古橋選手でしたが、大学卒業が近くなっても進路が決まらず、苦しい日々を過ごしていました。そんな古橋選手に声をかけたのは、当時J2（2部リーグ）にいたFC 岐阜でした。プロ入り後の古橋選手は、毎日居残り練習をして、サッカーの技術を磨いていきました。FC 岐阜の勝利のために、試合では献身的に走り続け、得点を重ねた古橋選手は、活躍が認められ、次の年にJ1（1部リーグ）のヴィッセル神戸に移籍します。神戸での大活躍の後、スコットランドの強豪チームから誘われて海を渡り、やがて世界でも活躍する選手になりました。監督やコーチの教えを聞き入れる謙虚さと周りの環境に感謝する心を持ち合わせた古橋選手は、技術を高めただけでなく、常に心を安定・充実させてプレーしているように感じられました。決してエリートではない古橋選手が、一流選手になれた秘密は、この辺りにあるように思います。



◆日本代表は来年行われるサッカーワールドカップへの出場を既に決めています。前回大会では、ベスト16で敗退したものの、一次リーグで強豪のドイツ、スペインを破るなど大きなインパクトを残しました。日本代表が、これまで7度ワールドカップに出場するほど実力をつけてきた背景には、選手たちの努力とともに、多くの監督・コーチからの数え

きれない指導の蓄積が挙げられます。その中でも、1964年の東京オリンピックに際し、選手強化の一環としてドイツから招かれたデットマール・クライマー氏は、基礎技術とともに戦う心の大切さを教え込みました。その象徴的な言葉が「ドイツにはゲルマン魂がある。私に、君たちの大和魂を見せてくれ」というものでした。その言葉に選手たちが奮起し、東京オリンピックではベスト8入りを果たし、4年後のメキシコオリンピックでは銅メダルを獲得するほどまでに成長したのです。

◆日々の生活や学習も同じです。「謙虚な心」や「向上心」をもち、粘り強く取り組むことで、自信とともに「確かな学び」になっていくのだと思います。子どもたちの「心」が安定するには、また充実するには、何が大切なのでしょう。まずは、私たち大人が子どもたちに穏やかな心もちで接し続け、良き手本を示したいものです。